



## 三郷市 Misato City

ホストタウン交流事業  
三郷市立瑞穂中学校にて、ギリシャ語講座を開催しました

三郷市はギリシャ共和国と、平成26年の「みさとシティハーフマラソン」におけるスポーツ交流をきっかけに交流を続け、平成28年6月には東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とする、ギリシャ共和国のホストタウンに登録され、以降スポーツ・文化・産業・教育など幅広い分野で、ホストタウン交流を継続しております。令和5年11月には、交流10周年を迎えた「みさとシティハーフマラソン」と、ギリシャ共和国で開催されている「アテネハーフマラソン」が「友好マラソン」となる協定を締結しました。

今回、ホストタウン交流事業の一環として、三郷市立瑞穂中学校(内山 留美子校長)にて、ギリシャ研究の第一人者である共立女子大学 木戸雅子名誉教授によるギリシャ語講座を計3回実施しました。

令和6年2月14日(水)、16日(金)の第1・2回目の授業ではクラスごとにギリシャ語の語源やギリシャ文化を学び、生徒一人ひとりが葉っぱ型のカードに好きな言葉をギリシャ語で書く「ギリシャ語の木」の制作を実施しました。

2月27日(火)の第3回目の授業ではギリシャ人留学生クロエ・パレさんを迎え、学年全体で作品を通じた発表を行いました。生徒たちが作成した「ギリシャ語の木」には「ありがとう」、「笑顔」、「友情」など様々な言葉が書かれ、当日は生徒たちが言葉に込めた思いを発表したり、クロエさんがカードに書かれた言葉を読み上げたりと充実した交流が行われました。

参加した生徒からは、「ギリシャ語にふれることで日本とギリシャの関わりや、他国との交流に興味湧いた。」、「言葉を学ぶことで国が違う人でも思いを伝えあうことができることに、とても楽しさや喜びを感じた。」と話していました。

また同日は、市内全小中学校でギリシャ給食が実施されるとともに、瑞穂中学校では昼の放送を木戸教授とクロエさんが担当するなど、生徒たちにとってギリシャを存分に味わう一日となりました。

### 記

【日時】 令和6年2月14日(水)、16日(金)、27日(火)

【対象】 瑞穂中学校1年生(3クラス 計102名)

【内容】 ギリシャ語講座

【講師紹介】木戸雅子教授…共立女子大学名誉教授/日本ギリシャ協会 理事。専門分野は、西洋美術史・ビザンティン美術史。修道院の壁画修復に携わり、2013年ギリシャ・サラミナ市名誉市民となる。2021年、ギリシャ政府からコマンダー・オブ・ジ・オーダー・オブ・ザ・ベネフィセンス勲章を受章。

クロエ・パレさん…ギリシャ・アテネ生まれのビジュアルアーティスト/研究者。日本文科省奨学金で東京藝術大学博士課程に在籍中。ギリシャ、ドイツ、日本など多くのアートスペースや学校、医療機関と連携し、ワークショップを展開。



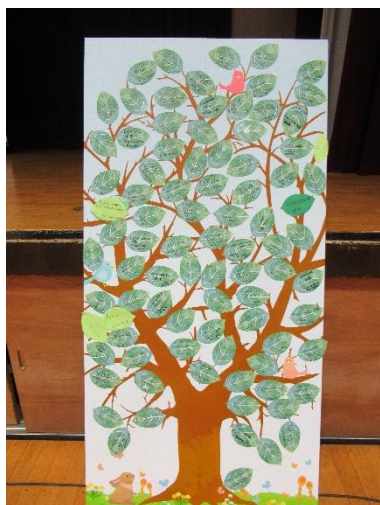
2/14 第1回目授業の様子



2/16 第2回目授業の様子



2/27 第3回目授業の様子



ギリシャ語の木



ギリシャ給食(中学校)

＜この情報提供に関するお問い合わせ＞

三郷市企画政策部企画政策課 ホストタウン交流推進係 TEL048(930)7829

(2024/3/4 三郷市提供)